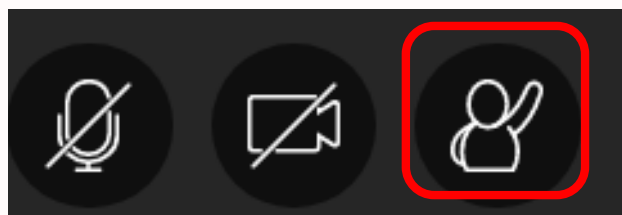


iThenticate 説明資料

2020年7月17日

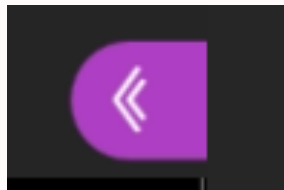
アシストマイクロ株式会社

音声のご確認をお願いします。



音声が届くかお試しください。聞こえている場合は、画面下の挙手のマークをクリックしてお知らせください。

ご質問はチャットにて送信ください。



ご質問はチャットの機能をご利用いただき、送信ください。

画面右下の<<のマーク「colaborateパネルを開く」をクリックし、吹き出しのマークをクリックし、文字入力して送信ください。



最後の質疑応答の時間に回答するか、後程メールにて個別に回答いたします。

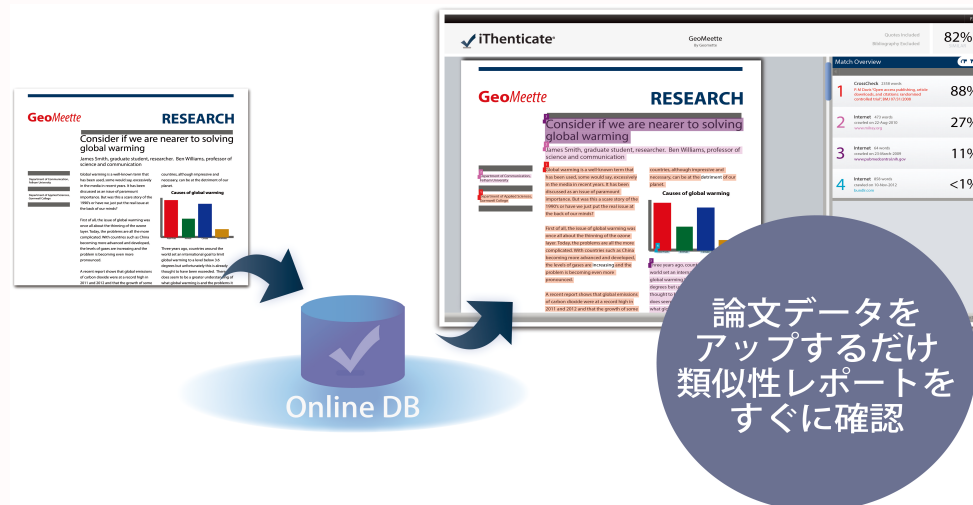
※チャットで入力いただくメッセージは、参加されている皆様をご覧になれます。

剽窃チェックツール

世界最大級の学術情報データベースとすばやくマッチング
著作物を正当に評価する剽窃検知ソリューション



研究者、指導教員、出版機関
のためのオンライン剽窃チェッ
クツール「アイセンチケイト」





We're passionate about helping students learn

Turnitin provides instructors with the tools to engage students in the writing process, provide personalized feedback, and assess student progress over time. Turnitin is used by more than 30 million students at 15,000 institutions in 150 countries.

[Our board](#)

[Our leadership](#)

[Turnitin careers](#)

Our Values



Passionate About Education

We believe education and literacy must be a right, not a privilege. Through our work on campuses worldwide, our employees can be a force for positive change globally.



Entrepreneurial

We take initiative and do the right thing for each other and our customers, with a focus on global impact in the 150 countries – and growing – in which we do business.

Turnitin社は、1996年に設立された米国の企業で同一のエンジンを利用した複数の剽窃防止ソフトを販売しております。
アシストマイクロは、日本における販売代理店となります。

研究活動の不正行為等の定義（文部科学省ホームページ）

◇対象とする不正行為

- (1) 捏造：
存在しないデータ、研究結果等を作成すること。
- (2) 改ざん：
研究資料・機器・過程を変更する操作を行い、データ、研究活動によって得られた結果等を真正でないものに加工すること。
- (3) 盗用：
他の研究者のアイデア、分析・解析方法、データ、研究結果、論文又は用語を、当該研究者の了解もしくは適切な表示なく流用すること。

文部科学省HP：研究活動の不正行為等の定義

http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/gijyutu/gijyutu12/houkoku/attach/1334660.htm

(参照 2019年7月24日)

- 研究者としてわきまえるべき基本的な注意義務を怠った場合は罰則の対象となります。

文部科学省HP：「研究活動における不正行為への対応等に関するガイドライン」の決定について

http://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/26/08/1351568.htm

(参照 2019年7月24日)

剽窃（ひょうせつ） : Plagiarism

・他人の文書、情報、アイデア、研究成果を自分のものとして無断で（適切な引用なく）発表すること。

※ 自己剽窃

過去に自分が作成した論文を書き写して、新たに書いたようにみせかけること。

過去のガイドラインでは「故意によるものではないことが根拠をもって明らかにされたものは不正行為には当たらない」という前文がありましたが、2014年度改訂版では、「故意又は研究者としてわきまえるべき基本的な注意義務を著しく怠った」場合は「特定不正行為」とみなすと修正。

→理解していなかったでは済まされない

研究不正が発覚してしまうと…

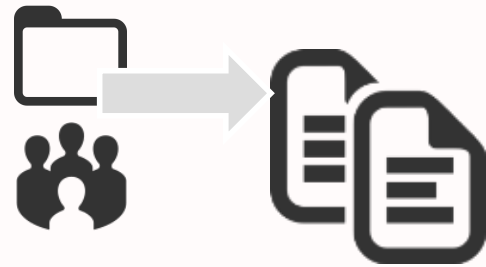
- ・ 組織全体の信用の失墜
- ・ 研究不正の調査のための多大な費用
- ・ 研究費の返還
- ・ 体制整備の状況が調査対象
- ・ 再発防止のため、不正行為の告発・相談の窓口
設置などの業務の発生

→組織、個人に重大な影響を及ぼす

剽窃チェックツールで研究不正を予防

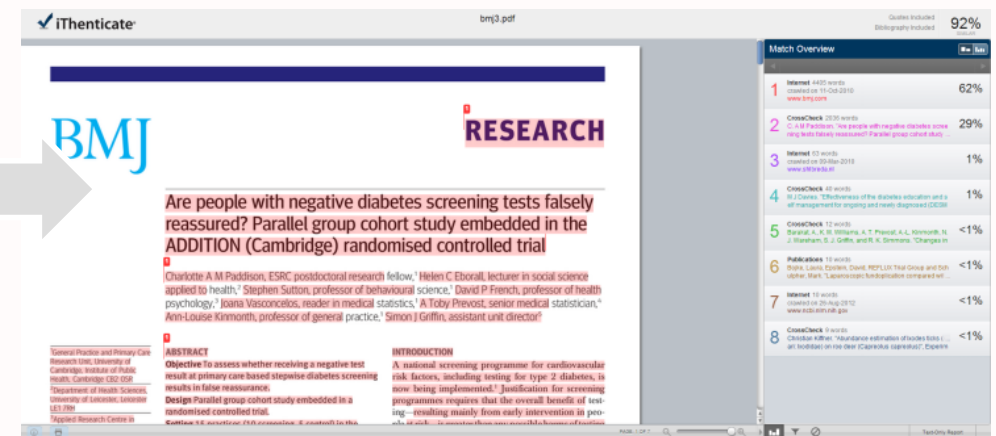
- **iThenticate**について

iThenticateの仕組み

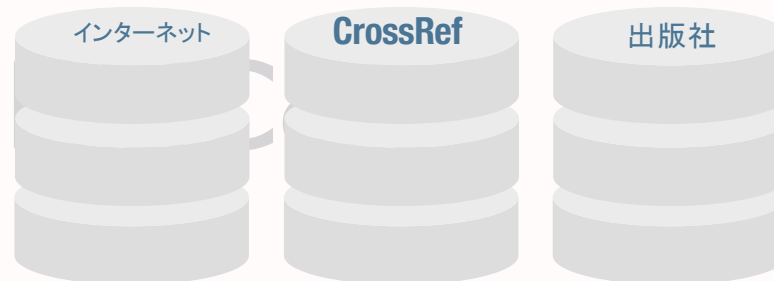


iThenticateのホームページから、チェックする文書をアップロードします。

デジタル指紋 (デジタルフィンガープリント)



iThe



iThenticateは学術コンテンツや億単位のウェブページといった膨大なデータベースをスキャンし、重複する内容をハイライトで表示します。

論文を、iThenticateにかけるとクラウド上の保有するDBとテキストパターンマッチングを行い、類似した文書をレポートで報告します。

❖ iThenticateのDB：主要学術誌、書籍の全文、及び インターネット情報

➤ 主要学術誌掲載論文 6,900万件（Elsevier, Nature, Springer, IEEE etc）

➤ 主要学術文献検索サービス、教科書出版社などが所有する文献
1億3,500件（Proquest, Peason, Pubmed/Medline etc）

➤ 一般のインターネットwebページ 700億ページ

Turnitin社は、大学の機関レポジトリ等の学術コンテンツ およびニュースや時事関連、そしてウィキペディア等といった検索サイトを主なクロールの対象としています。

iThenticate Database Content

STM Publishers:

69 Million

Content Partners:

135 Million

Internet:

70 Billion

Similarity Check (旧CrossCheck) とは



- ❖ Similarity Checkは、CrossRefが提供するiThenticateを利用した剽窃チェック。

CrossRefに加盟している学会や学術出版社は、希望すれば自社の雑誌に載せる前に、Similarity Checkで剽窃チェックを行うことが可能。

Similarity Checkを利用している出版社や学会は全文テキストをTurnitin社に送付し（送付のタイミングは、出版社や学会に任せられています）iThenticateのデータベースに取り込んでおります。

◆世界標準の剽窃検知システム

- ・世界の主要なDOI（Digital Object Identifier）付与機関が利用

➤ CrossRef (Similarity Check powered by iThenticate)

1998年に学術出版社12社（Elsevier, Springer, Wileyなど）にてスタートした学術出版社の団体で、現在は世界的な学会や学術出版社が加盟している。2008年に、CrossRefは会員向けのサービスとしてSimilarity Check（剽窃チェックサービス）を提供。

iThenticateは、英語の論文だけでなく日本語の論文のチェックも可能です。 **(30ヶ国語に対応)**

- Similarity Checkを利用している学会の雑誌
- 大学の機関レポジトリ等の学術コンテンツ
- ニュースや時事関連サイト
- ウィキペディア等といった事典サイト

これらのソースを中心に日本語の文書を数多く含んでおります。

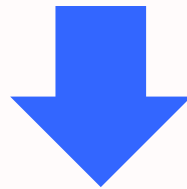
言語別のデータベースの論文収録順位は以下となります。

1. 英語、
2. ドイツ語、
3. フランス語、
4. 日本語、
5. イタリア語、
6. スペイン語

- iThenticateにおける判断方法

- ◇ iThenticateを利用して一致するケースの例

- 完全に盗用の場合
- 著者が引用形式にすることを忘れた場合
- 著者が過去の文章を使用したもので問題ないと考えていた場合
- たまたま表現が一致した場合



一致した箇所が剽窃に当たるかどうかは、チェックする側の人判断に委ねられます。



お問い合わせ先



Software Distribution Group
〒164-0012 東京都中野区本町3-31-11

TEL:03-5302-2982
FAX:03-5302-2844
<http://www.assistmicro.co.jp>
E-mail:turnitin_t@assistmicro.co.jp